

第 101 回技術倫理協議会 議事録

1. 日 時：2022 年 1 月 17 日（月） 10：00～12：00
2. 場 所：オンライン会議（Zoom）
3. 出席者（役職順／所属順、敬称略）
 - 議長：松久 寛
 - 副議長：草柳 俊二、吉開 範章
 - 幹事：田中 克、伊藤 和也、木下 宏揚
 - 委員：石川 孝重、石橋 邦夫、掛谷 英紀、鎌田 潤一、貴志 公博、中野 智仁、
夏目 賢一、本間 弘一
 - アドバイザー：池田 駿介、札幌 順、三木 哲也
 - オブザーバー：横山 真吾
 - 事務局：木暮 賢司
4. 議題
 - ① 電気学会よりオブザーバー追加の件（技倫資料 101-2-2）
 - ② 前回議事録(案)について（審議）（技倫資料101-3-1, 101-3-2）
 - ③ 第17回公開シンポジウムアンケート結果及び開催報告案（技倫資料101-4）
 - ④ 新型コロナウイルスを巡る倫理問題「機能獲得研究」についての問題点
と「技術」と「倫理」とは何か（掛谷委員）（話題提供）（技倫資料101-5）
 - ⑤ 令和 4 年度事業計画(案) 及び令和 3 年度事業報告（中間報告：案）、
及び第17回公開シンポジウム結果報告（案）（技倫資料101-6）
 - ⑥ 会員活動報告について（報告）（技倫資料101-7）
 - ⑦ 次回第102回以降協議会日程について（審議）（資料なし）
 - ・ 第102回：2022年●月●日（●）
 - ＊時間：●:00～●:00（予定）
 - ＊場所：Zoom（予定）
 - ⑧その他
5. 議事
 - ① 電気学会よりオブザーバー追加について審議の結果これを承認した。
 - ② 前回議事録(案)について、議事内容の確認、審議を行い、原案は承認した。
 - ③ 第17回公開シンポジウムアンケート結果及び開催報告案の確認を行い、これを承認した。
 - ④ 資料に基づき説明を受けた後に意見交換を行った。
 - ⑤ 次年度の事業計画案、今年度の活動報告案、及び第17回公開シンポジウム結果報告案について確認しこれを承認し、理事会へ上程することとした。
 - ⑥ 定例の各学協会の活動概要が、各学協会委員から報告された。
 - ⑦ 次回第102回協議会は、2022年3月28日（月）10時からオンラインで開催する。
 - ⑧ その他 特に無し

第 101 回技術倫理協議会（2022 年 1 月 17 日）会員学協会活動報告

	学協会名	報告概要
1	公正研究推進協会	11 月 17 日（金）17：00～19：00 に理工学系分科会を開催した。次回の分科会は 2 月 7 日（月）の予定。2 月 22 日（火）に全国公正研究推進会議を開催予定。
2	電気学会	<ul style="list-style-type: none"> ・ 12 / 4 電気学会教育フロンティア研究会との共催で、倫理委員会特別企画を開催。（リモート） 8 月に開催した、エンジニアリング研修会「鋼鉄と電子の塔」に関する論文発表他。 ・ 12 / 20 倫理講演会を開催。（リモート） 講師：青山学院大学准教授 河島茂生 氏 「人工知能倫理の基盤構築」 ・ 12 / 21 倫理委員会開催。（リモート） 2022 年 3 月の全国大会での倫理シンポジウム計画の最終審議、ポスト教育WGの提案他。
3	電子情報通信学会	<p>(1) 技術と社会・倫理(SITE)研究会が、12 月 3～5 日に、オンラインにて、情報処理学会・コンピュータと教育研究会と連催により、学習データの利活用、インターネットと情報倫理教育、一般をテーマに開催され、データサイエンス教育に関する 5 件の招待講演&パネル討論を含む 15 件の発表があった。</p> <p>招待講演 1：データサイエンス・人工知能の ELSI と大学・初中等教育；鈴木大助（北陸大）</p> <p>招待講演 2：情報倫理教育における「数理・データサイエンス・AI」と放送大学の取り組み；辰己丈夫（放送大）</p> <p>招待講演 3：データサイエンス・人工知能の ELSI と大学 -デジタルシチズンシップとリベラルアーツ-；村上祐子（立教大）</p> <p>招待講演 4：初等・中等教育における人工知能・データサイエンスの ELSI 教育；中園長新（麗澤大）</p> <p>(2) 電子情報通信学会・倫理綱領および行動規範の改訂作業中：一次案作成終了。コメントを収集中。</p>
4	土木学会	<p>「設計変更ガイドラインと技術者倫理に関するセミナー」</p> <p>日時 2022/2/15 13:30-17:00</p> <p>場所 対面/WEB ハイブリット開催</p> <p>https://committees.jsce.or.jp/rinri/node/25</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 13:30-13:40 委員長挨拶：谷口博昭（土木学会会長、（一財）建設業技術者センター） ・ 13:40-14:20 講演 1：草柳俊二（高知工科大学名誉教授、東京都市大学客員教授）「建設契約と土木技術者倫理－個人の倫理、組織の倫理、産業の倫理－」 ・ 14:20-15:00 講演 2：木下誠也（日本大学教授）「契約変更におけるわが国特有の問題（仮）」 ・ 15:00-15:40 講演 3：森戸義貴（国土交通省大臣官房技術調査課長）「国土交通省直轄土木工事における最近の取組（仮）」

		<ul style="list-style-type: none"> ・ 15:40-15:55 休憩 ・ 15:55-16:35 パネルディスカッション 進行：堀田昌英（建設マネジメント委員会委員長、東京大学）、パネラーは講演登壇者 ・ 16:35-16:50 質疑応答 ・ 16:50-17:00 閉会挨拶：田中茂義（土木学会副会長、当委員会副委員長、大成建設）
5	日本化学会	
6	日本機械学会	<p>技術倫理委員会を2021年12月14日にWeb開催した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 2022年度年次大会特別企画の件 ・ 日本機械学会倫理規定見直し準備の件 ・ 日本工学会倫理協議会報告 <p>⇒今後、倫理規定見直しについては、WGを立ち上げ、検討を行うこととした。</p>
7	日本技術士会	<p>1. 第3回倫理委員会：12月22日（水）：15:00～17:00</p> <p>①綱領小委員会</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 技術士倫理綱領の改定案を取りまとめ、全国大会技術者倫理情報連絡会（11/26）にて報告し意見交換を行った。また、開催後も2週間、メールでの意見募集を実施した。その結果、参加者100余名中10名からご意見を頂いたので、今後の検討に反映することとなった。 <p>②啓発小委員会</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 2022年5月に倫理シンポジウムを開催する予定でテーマ案「アフターコロナ時代の技術者倫理」と定め、造詣の深い講師の人選（3名）と講演要請中。 ・ 新しいCPD登録制度導入により、技術士倫理について年間1時間以上の教育実績が必要となり、eラーニング教材の作成を開始した。 <p>③情報小委員会</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 月刊技術士に掲載する技術士倫理に関する企画を検討中。 <p>④全国大会技術者倫理情報連絡会</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 11/26（金）に機械振興会館とオンラインでのハイブリッドで開催。 ・ 統括本部倫理委員会の活動報告と倫理綱領改定に向けた検討状況を報告し、意見交換を実施。また、各地域本部及び倫理研究会からも活動報告してもらい、意見交換を行って交流を深めることができた。 <p>2. 今後の予定</p> <p>第4回倫理委員会 2022年2月9日（水）15:00～17:00。</p>
8	日本原子力学会	<p>2021/12/03に委員会を開催。次回は2022/1/28開催予定。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 2022春の大会（オンライン：3/16水～18金）における企画セッション（3/16水13:00-14:30）として早稲田大学札幌先生に志向倫理を題材に「科学技術倫理 2.0 ～人と組織と社会のウェルビーイングを目指して～」の講演をいただくことで調整している。 ・ 委員会設立20年となるため、20周年行事の催しを検討している。また、学会誌に倫理の専門家より投稿をいただく企画の検討を継続している。 ・ 東京電力のID不正使用について検討を継続している。 ・ 研究機関JAEAの安全文化について検討を継続している。

9	日本建築学会	<ul style="list-style-type: none"> ・ 11 月 19 日に倫理実践検討小委員会が開催され、「(仮称) 日本建築学会の倫理綱領・行動規範パンフレット」の執筆要領等について検討を行った。 ・ 11 月 29 日に広報 WG が開催され、建築倫理セミナーについて検討を行った。 ・ 12 月 1 日に第 3 回建築倫理セミナーを開催。 ・ 12 月 24 日に建築倫理教材開発 WG が開催され、「先達に聞く」インタビューの編集方針について検討を行った。
10	日本工学教育協会	<ul style="list-style-type: none"> ・ 科研費プロジェクト：映像教材制作中 (2 月完成予定)。 ・ 3 月に新映像教材を使ったオンラインワークショップ企画中。 ・ 協会の調査研究委員会サイトを拡充し、2014 年から制作した学習・教育目標、モジュール型モデル・シラバス、モジュール類を公開。
11	日本非破壊検査協会	
12	日本マリンエンジニアリング学会	

(以上)